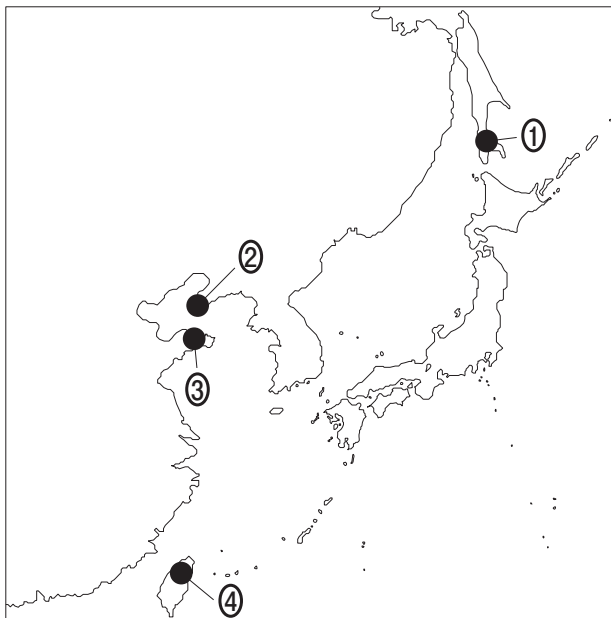


# 日本史 A

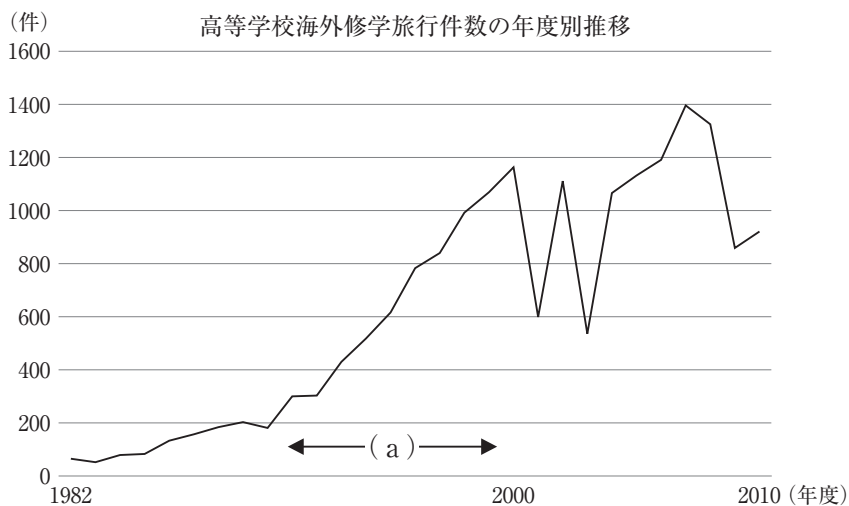
## 参考問題例

**問題例 1** 日本史Aの主題学習で「わが校の修学旅行から日本の歴史を探る」と題して発表することとなった。Aさんたちは、それぞれ図や年表を作成して、修学旅行の歴史を振り返ることとした。Aさんたちの活動に関する下の問い(問1～5)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

問 1 Aさんたちは、図書館で『学校誌』を調べ、わが校が明治時代に東アジア方面への修学旅行を実施していたことを知った。その地域は、日露戦争後にロシアから租借権を譲られ、清国もそれを認めた地域であった。わが校が訪問した先を、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。



問 2 修学旅行で海外コースを選択したAさんは、海外への修学旅行件数の変化を示した次のグラフを調べてみた。下の発表原稿の空欄 **甲** に入る文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **2**



(『日本修学旅行協会 教育旅行年報データブック 2017』より作成)

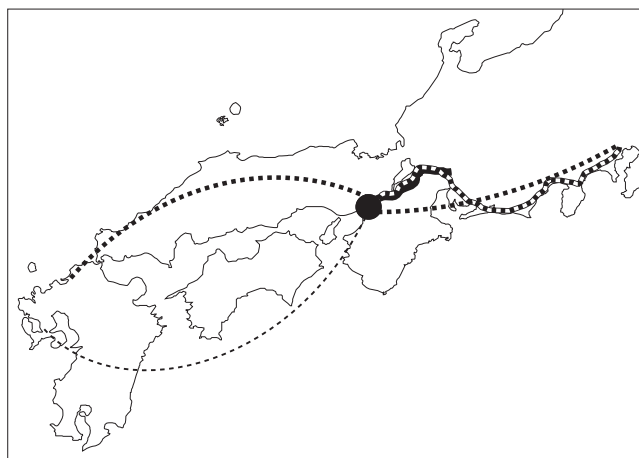
### 発表原稿

海外修学旅行は、多くの学校で実施されているようです。このグラフにおける海外修学旅行の件数の増減は、国際情勢や国際経済が関係していると考えられます。グラフ中の(a)の時期には、 **甲** ということもあり、海外修学旅行が増加した背景の一つとしてとらえられます。

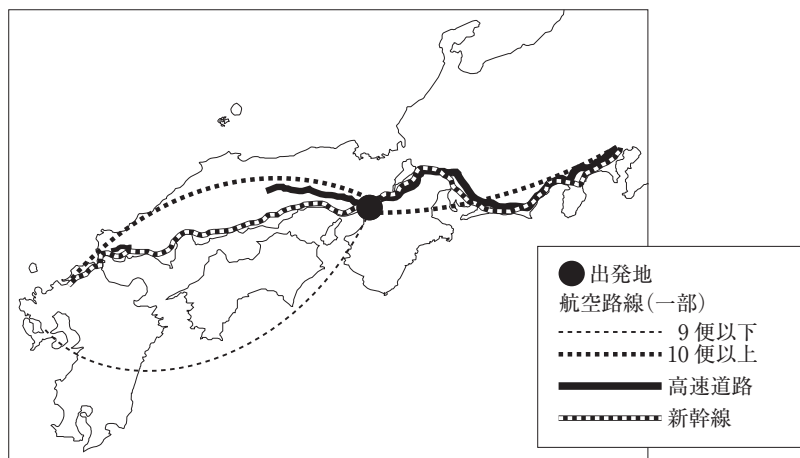
- ① 高度経済成長が続き、所得が増加した
- ② 郵政民営化などが進み、景気も回復し円安の状況に転じた
- ③ バブル経済が崩壊し不況となったが、円高が継続した
- ④ 石油危機の影響で、航空機燃料の価格が高騰した

問 3 卒業アルバムを調べていたBさんは、関西地方にあるわが校の修学旅行先が、資料1の時期は関東地方であったが、その後資料2の時期には九州地方へと変化していることに気付いた。Bさんは、この変化の背景のひとつには大量輸送機関の発達があると考えた。資料1・2を根拠とした仮説として最も適当な文を、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

資料1



資料2



- ① 高速道路が延びており、モータリゼーションの影響があったのではないか。
- ② 新幹線が延びており、移動時間が短縮した影響があったのではないか。
- ③ 航空路線の便数が増加し、その利用が一般化した影響があったのではないか。
- ④ 国鉄(日本国有鉄道)が民営化され、旅客サービス向上の影響があったのではないか。

問 4 旅行が好きなCさんは、ある旅行会社のホームページ上に掲載されていた次の資料に注目した。資料中の修学旅行が行われていた時期を年表中の a・b から選び、それと空欄 **乙** に入る語ア・イとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

資料

本社の創立当初は……日本本土に行く場合でもパスポートが必要な時代でした。……

昔は船の旅が主で、修学旅行にしても福岡、大阪、東京と回る長旅で15日間から長いときで25日間の旅でした。もちろん生徒は小遣いをドルでしかもっていないので添乗員が日本円へ両替して渡したものでした。……航空便も飛んでいたのですが……運賃は片道81ドル。 **乙** の時代で、大卒の初任給が20～27ドルでしたのでかなり高価な乗り物だったと思います。

年表

| 年    | できごと           |
|------|----------------|
| 1952 | 日本本土の主権回復<br>a |
| 1971 | 沖縄返還協定の締結      |
| 1972 | 沖縄返還の実現<br>b   |
| 2000 | 九州沖縄サミットの開催    |

ア 変動為替相場制

イ 固定為替相場制

- ① a－ア      ② a－イ      ③ b－ア      ④ b－イ

問 5 鉄道ファンのDさんは、同窓会報で修学旅行が取りやめられていた時期があったことを知った。その理由として載せられていた次の資料の時局を説明するために下の図(駅弁の掛け紙)を活用した。Dさんが使うのに適当でない図を、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

資料

「生徒児童の旅行について」

……現在の鉄道や自動車による貨物・旅客の輸送がひっ迫していることや物資消費の規制がなされていることから、なお一層、貨物輸送を強化することや物資消費を抑制する必要がある。このような状況であるので、各学校の旅行は当分の間は次に示すように調整し、生徒児童を率先して時局に対応させる方針で次のように処理するように……



**問題例 2** 生徒会で日本赤十字社の募金を始めることになったFさんたちは、日本の人道支援や国際貢献の歴史について考えるために次の年表を作成した。年表を参考に、下の問い(問1～6)に答えよ。

年表

| 年    | 世界と日本のできごと                       | 日本の人道支援・国際貢献                       |
|------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1860 | 国際赤十字社設立                         |                                    |
| 1870 | A                                | 博愛社(日本赤十字社の前身)設立… <sup>Ⓐ</sup>     |
| 1880 |                                  |                                    |
| 1890 | 日清戦争                             | } 日本赤十字社による救護                      |
| 1900 | 日露戦争                             |                                    |
| 1910 | 第一次世界大戦                          |                                    |
| 1920 | 国際連盟設立                           | 国際連盟に加盟… <sup>Ⓑ</sup>              |
| 1930 |                                  |                                    |
| 1940 | 第二次世界大戦                          |                                    |
| 1950 | 国際連合設立                           | 国際連合に加盟                            |
| 1960 | OECD(経済協力開発機構)発足                 | DAC(OECD 開発援助委員会)に加盟… <sup>Ⓒ</sup> |
| 1970 | 国境なき医師団設立… <sup>Ⓓ</sup>          |                                    |
| 1980 |                                  |                                    |
| 1990 | 国連環境開発会議(地球サミット)開催… <sup>Ⓔ</sup> | 国際平和協力法(PKO 協力法)制定… <sup>Ⓕ</sup>   |
| 2000 | 先住民族の権利に関する国際連合宣言… <sup>Ⓖ</sup>  |                                    |
| 2010 |                                  |                                    |

問 1 年表中㉔について、Fさんたちは博愛社の設立はこの時期に起こった A  
と関係があると気付いた。このできごとを説明した文章として正しいものを、  
次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 特権を奪われたかつての支配階級が、その不満を背景に政府と激しく対立した。
- ② 帝国主義列強間の覇権争いにより、多くの国を巻きこんだ総力戦が4年続いた。
- ③ 中国での排外運動をきっかけに、朝鮮半島・満州をめぐる対立が激化した。
- ④ 南満州鉄道の線路の爆破をきっかけに、日本が軍事行動を開始した。

問 2 年表中㉕について、Fさんたちは国際連盟の評価について、次の2つの見方  
があることに気付いた。見方とその根拠となる情報の組合せとして正しいものを、  
下の①～④のうちから一つ選べ。 2

#### 見方

- X 国際連盟は国際秩序を維持する機関として肯定的に評価できる。
- Y 国際連盟は国際秩序を維持する機関としては肯定的に評価できない。

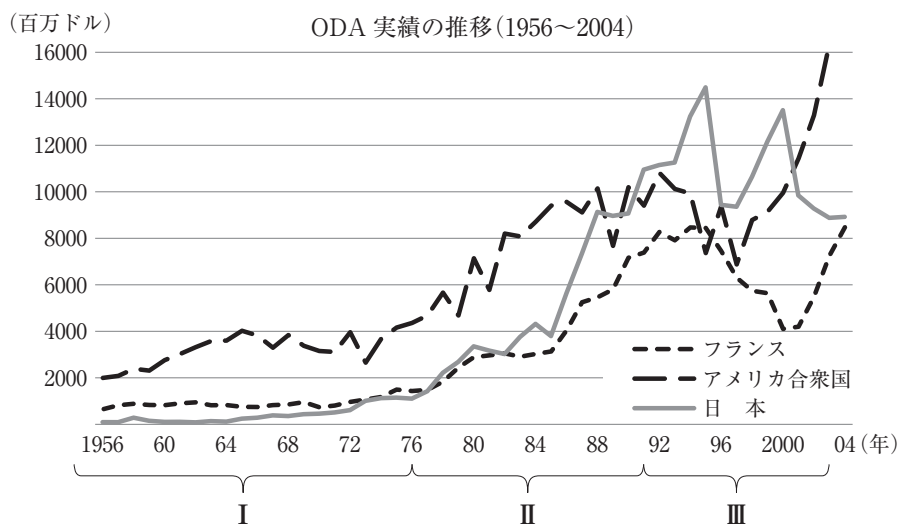
#### 根拠(a～dは事実である)

- a 委任統治領のしくみにより大国間の利害を調整した。
- b 当初の常任理事国は英・仏・日・伊4か国のみで構成された。
- c 紛争に際して加盟国は連盟に提訴することができた。
- d 国際連盟から脱退する国もあった。

- ① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d
- ③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d



問 3 年表中㉔に関して、Fさんたちは、次のグラフから日本のODA(政府開発援助)の推移をⅠ～Ⅲの時期に区分した。各時期の特徴を述べた文a～cと各時期の背景を述べた文ア～ウとの組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 3



- a この時期は、援助額は変動があるものの、援助内容は「量から質へ」の変換が図られ、NGO(非政府組織)や民間企業との連携が強くなった時期である。
  - b この時期は、ODAの額は増加傾向であり、日本の実績は先進国内でも有数となった時期である。
  - c この時期は、援助額は横ばいであり、戦後のアジア諸国に対する賠償と、それに並行して経済協力を行っていた時期である。
- ア APEC(アジア太平洋経済協力)など経済協力が進み、技術・人材の協力が求められた。
- イ 世界的不況を乗り越えた日本は、世界の総生産の1割以上をしめる経済大国となった。
- ウ 講和会議に不参加もしくは講和条約に調印しなかった国とは、国交回復などの交渉が必要であった。

|   | ①     | ②     | ③     | ④     | ⑤     | ⑥     | ⑦     | ⑧     | ⑨     |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Ⅰ | a — ア | a — イ | a — ウ | b — ア | b — イ | b — ウ | c — ア | c — イ | c — ウ |
| Ⅱ | b — イ | b — ウ | c — ア | a — ウ | c — ア | c — イ | a — イ | b — ウ | b — イ |
| Ⅲ | c — ウ | c — ア | b — イ | c — イ | a — ウ | a — ア | b — ウ | a — ア | a — ア |

問 4 Fさんたちは、年表中①の国境なき医師団が設立された時期は、世界と日本にとって大きな画期であると考えた。次の「画期とみなした理由」とは結び付かないできごとを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

「画期とみなした理由」

- ・日本に大きな影響を与えていたアメリカの方針が転換したから。
- ・国民の健康被害など社会生活上の問題に対して、政府が総合的に取り組むようになったから。
- ・高度経済成長が終わることとなったから。

① 環境庁の設置

② 日中国交正常化

③ 日本万国博覧会の開催

④ 第一次石油危機

問 5 年表中㉔・㉕について、Fさんたちは、教科書や資料集から写真甲・乙を見  
つけ、その説明を考えた。説明X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下  
の①～④のうちから一つ選べ。 5

甲



京都議定書が採択された会議

乙



カンボジアで支援する自衛隊

X 甲は、地球温暖化の抑止のため、国際協力のひとつとして、温室効果ガス  
排出削減目標を定めた時の写真です。

Y 乙は、冷戦終結後の地域紛争に対応するため、国連決議に基づいた活動に  
日本も参加するようになった時の写真です。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 6 年表中㉔について、国内でも少数民族の文化を尊重することが求められている。この経緯を歴史的に説明した次の説明文の空欄  ・  に入る文の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

### 説明文

1869年に蝦夷地は北海道と改称され、 が設置された。政府はアイヌを旧土人と呼称し、1899年には日本語の使用を義務付けるなどの法律を定め同化政策を進めた。この法律は、1997年に が制定されたことにより廃止された。2008年には、アイヌを先住民族と認める国会決議が行われた。

- a 鉄道や鉱山の経営を行う国策会社
- b 土地の開発や産業振興を進める役所
- c アイヌ文化を振興するなど民族としての誇りが尊重されることを目的とした法律
- d アイヌ民族に農業への従事を勧めるなど民族を保護することを目的とした法律

- |   |      |      |   |      |      |
|---|------|------|---|------|------|
| ① | ア－ a | イ－ c | ② | ア－ a | イ－ d |
| ③ | ア－ b | イ－ c | ④ | ア－ b | イ－ d |